2010年度前学期数学演習3類(Pクラス)第2回演習問題

(2-1),(2-4) は $\epsilon-\delta$ 論法を用いて厳密に示すこと。(2-2),(2-3),(2-5) は $\epsilon-\delta$ 論法までは用いなくてもよいが、どのように計算するか計算過程を示すこと。

Hint: $\lim_{n\to\infty}a_n=\alpha$ の $\epsilon-\delta$ 論法による定義は、 $\forall \epsilon>0$ $\exists N\in\mathbb{N}$ $\forall n\geq N, \ |a_n-\alpha|<\epsilon$ である。つまり、任意の $\epsilon>0$ をひとつ固定したときに、ある自然数 N が存在し、N 以上の任意の自然数 n で、 $|a_n-\alpha|<\epsilon$ となることである。

- (2-1) この問題は、解答用紙に解答すること
 - i. $\lim_{n\to\infty} \frac{1}{a_n} = 0$ の定義を書け。
 - ii. $\lim_{n\to\infty}a_n=\infty$ の定義を書け。(Hint: ∞ は任意の実数 M よりも大きい。)
 - iii. $\lim_{n\to\infty}a_n=\infty$ となるとき、 $\lim_{n\to\infty}\frac{1}{a_n}=0$ となることを示せ。
- (2-2) 数列 a_n が次のように示されているとき、 $\lim_{n\to\infty}a_n$ を求めよ。ただし、a,b,c>0 であり、a,b,c は互いに異なる。

(1)
$$n\left(\sqrt{1+\frac{1}{n}}-1\right)$$
, (2) $4^n+n(-3)^n$, (3) $\frac{\sin(n\pi)}{n}$
(4) $\frac{a^n}{n!}$, (5) $\frac{a^n-a^{-n}}{a^n+a^{-n}}$, (6) $\sqrt[n]{a^n+b^n+c^n}$

(2-3) 次の級数を求めよ。

(1)
$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{n}{3^n}$$
, (2) $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n(n+1)(n+2)}$,

(2-4) $\lim_{n\to\infty}a_n=\alpha$ のとき、

$$\lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} a_k = \alpha$$

を示せ。

(2-5) A を正の定数として、 $a_1=1,a_{n+1}=\sqrt{a_n+A}$ で数列 a_n を定義する。 $\lim_{n\to\infty}a_n$ は、 $\alpha^2=\alpha+A$ の解のうち正の値に収束するが、その値に収束することを示せ。 $({
m Hint:}\ a_{n+1}\geq a_n\geq 1,$ また a_n の一般形は求めなくても良い。)

略解

(2-1) i. $\forall \epsilon > 0 \quad \exists N \in \mathbb{N} \quad \forall n \geq N, \quad \left| \frac{1}{a_n} \right| < \epsilon$

ii. $\forall M > 0 \quad \exists N \in \mathbb{N} \quad \forall n \geq N, \quad a_n > M$

iii. $orall \epsilon>0$ について、 $M=rac{1}{\epsilon}$ と置くと $\exists N\in\mathbb{N}$ $\forall n\geq N, \quad a_n>M$ である。 したがって、 $n\geq N$ では、 $0<rac{1}{a_n}<rac{1}{M}=\epsilon$ となり、 $\lim_{n\to\infty}a_n=0$ が示される。

(2-2)

(1)
$$\frac{1}{2} \left[: n \left(\sqrt{1 + \frac{1}{n}} - 1 \right) = \frac{1}{\sqrt{1 + \frac{1}{n}} + 1} \right],$$
 (2) ∞ , (3) 0

(4) 0 (5) 1(a > 1), 0(a = 1), -1(a < 1), (6) $\max\{a, b, c\}$

(2-3)

(2-4) $orall \epsilon>0$ をひとつ固定する。このとき、 $\lim_{n\to\infty}a_n=\alpha$ より $\exists N_1\in\mathbb{N}$ で $orall n\geq N_1, |a_k-lpha|<rac{\epsilon}{2}$ とできる。次に、 $M=\sum_{k=1}^{N_1}|a_k-lpha|$ と置く。ここで、N を $N>\max\{rac{2M}{\epsilon},N_1\}$ を満たす整数とする。このとき、 $orall n\geq N$ で

$$\left| \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} a_k - \alpha \right| = \frac{1}{n} \left| \sum_{k=1}^{n} (a_k - \alpha) \right| \le \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{N_1} |a_k - \alpha| + \frac{1}{n} \sum_{k=N_1+1}^{n} |a_k - \alpha|$$

$$\le \frac{M}{n} + \frac{n - N_1}{n} \frac{\epsilon}{2} < \frac{\epsilon}{2} + \frac{\epsilon}{2} = \epsilon$$

(2-5) 収束先 α は、 $\alpha^2=\alpha+A$ を満たす正の数である。つまり、 $\alpha=\frac{1+\sqrt{1+4A}}{2}$ である。ここで、

$$a_{n+1} - \alpha = \sqrt{a_n + A} - \alpha = \sqrt{a_n + \alpha^2 - \alpha} - \alpha = \frac{a_n - \alpha}{\sqrt{(a_n - \alpha) + \alpha^2 + \alpha}}$$

より、

$$|a_{n+1} - \alpha| = \frac{|a_n - \alpha|}{\sqrt{(a_n - \alpha) + \alpha^2 + \alpha}} \le \frac{1}{\alpha} |a_n - \alpha|$$

となる。 $\alpha > 1$ より、

$$|a_n - \alpha| \le \left(\frac{1}{\alpha}\right)^{n-1} |a_1 - \alpha|$$

が得られる。これを使うと、 $\forall \epsilon>0$ に対して、 $N>1-\frac{\log\epsilon}{\log\alpha}\frac{1}{\log|a_1-\alpha|}$ と取ることで、 $\forall n\geq N$ で、 $|a_n-\alpha|<\epsilon$ とできる。